

マレーシアと省エネ支援に関する令和4年度第4回オンライン会議を開催しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）では、資源エネルギー庁の委託を受けて、令和4年度もマレーシアとの二国間省エネ協力事業を継続実施しています。今年12月に予定される受入研修の参加者が11月上旬に決定されましたので、11月17日に今年度第4回目のオンライン会議を開催し、その研修予定者10名に対して研修内容詳細や招聘状・受入体制・コロナ対策等について説明し理解を得ました。



1. 会議出席者：

- (1) マレーシア側：エネルギー天然資源省 (MENR) Mr. Noraizi Nordin他2名、SEDA（持続可能エネルギー開発庁）Director, Mr. Lojuntin氏他2名、EC（エネルギー委員会）Assistant Director, Mr. Yusoff氏他1名、その他の機関；3名、計11名（含む窓口担当者）
 - (2) 日本側：ECCJ国際協力本部 6名
2. 会議概要と結果：以下の項目に関して説明し、多くの質疑応答がありました。オンラインを活用して渡航前に詳細の説明と確認が出来たのは効果的でした。
- (1) 研修予定者10名の確認
 - (2) 研修プログラム（改訂版）の説明
 - (3) 研修概要（Outline）（改訂版）の説明
 - (4) Application Form等の回答内容の確認：ワクチン接種証明を含めてすべての必要書類は揃っていました。
 - (5) Invitation Letter & VISA申請書類の説明：VISA申請は不要となりましたが、念のため入国審査時に申請関連書類を携帯するよう要請しました。
 - (6) フライト、成田空港、ホテル、研修会場等の紹介
 - (7) 日本の最新水際対策とコロナ対応の行動規範の説明と順守依頼

3. 今後の予定

- (1) 参加者へのE-Ticketの発行：11月28日（実際には11月25日となりました）
- (2) Country Reportの提出：11月28日（督促中）
- (3) 12月11日（日）朝、成田着、12日より研修開始

以上